

武豊町まちづくり会議 開催結果概要

1. 開催のねらい

- 「第6次武豊町総合計画」の策定から4年近くが経過し、その間には、コロナ禍、円安、物価高騰、DX推進など、まちを取り巻く社会環境も大きく変化しています。
- こうした社会環境の変化をふまえて、今後、「武豊町がめざすべき姿」や「その実現のために取り組むべきこと」を町民と一緒に考える場として『まちづくり会議』を開催しました。

2. 成果の反映

- 第6次武豊町総合計画の基本計画の見直しに反映します。
- 「武豊町がめざすべき姿」、「その実現のために取り組むべきこと」は、基本計画の「第2章 重点施策方針」、「第3章 分野別計画」の見直しに反映します。

3. 開催経過・参加者数

回	開催日時	参加者数			
		公募	団体	職員	計
第1回	令和6年11月23日(土) 10:00~12:00	11人	7人	11人	29人
第2回	令和6年12月14日(土) 10:00~12:00	12人	7人	11人	30人
第3回	令和7年 1月11日(土) 10:00~12:00	12人	6人	11人	29人

4. 話し合いのテーマ

回	内容
第1回	○理想とする武豊町の未来の姿(めざすべき姿)を考えよう！ ・「未来の武豊町への期待と不安」について日頃感じていることを話し合いました。 ・そこで出てきた意見を参考に、「理想とする武豊町の未来の姿」を考えました。
第2回	○未来の姿を実現するための取組アイデアを出し合おう！ ・「武豊町の未来の姿」に関して4つのテーマ(A~D)を設定しました。 ・テーマ別にグループを編成し、「未来の姿」を実現するための「取組アイデア」を話し合いました。 A.「子どもの学び・育ちを応援するまちへ」…重点施策方針2に相当 B.「みんなが元気に活動・活躍するまちへ」…重点施策方針3に相当 C.「住みよいから、住みたいまちへ(その1)」…重点施策方針1に相当 (産業育成と雇用の確保、良好な住環境の確保) D.「住みよいから、住みたいまちへ(その2)」…重点施策方針1に相当 (たけとよファンづくり、一元的な町の情報収集・発信のしくみづくり)
第3回	○未来の姿を実現するための取組アイデアを深掘りしよう！ ・第2回会議で出された「取組アイデア」をベースに、重点的な取組について内容を深掘りしました。

第1回武豊町まちづくり会議(R6.11.23)

期待していること

- ・もっと交通の便が良くなる
- ・安心して妊娠・出産できる
- ・安全に暮らせるまちであってほしい
- ・高齢者にとって生活しやすいまち
- ・活気あふれるまち
- ・多世代がつながるまち
- ・色々なことに触れ、体験できる機会がある
- ・町のビジョンが住民に伝わっている

不安なこと

- ・空き家、田、畑をそのままになってないか
- ・電車の本数が減る
- ・「車がないと、出かけることができない
- ・みそ蔵なくさないでほしい
- ・子どもが遊べない、笑顔がない
- ・若者が少ないまちになっていないか
- ・飲食店など減少化、閉店していかないか…
- ・「自治会の加入者の減少、コミュニティの消失

■武豊町がめざすべき姿

見出し	理想的なまちのイメージ
笑顔で元気に暮らせるまち	笑顔あふれる武豊町
	あたりまえな幸せを感じられるまち
	明るい「あいさつ」が飛び交っているまち
	家族・ご近所さんと笑顔で暮らしているまち
子どもから大人まで優しい	子どもから老人まで、安全でやさしいまち
	全世代が生活に困らないまち
	老後、一人暮らしになっても、健康で笑っていたい
	子育てしやすいまち
	まち全体で子育て支援・サポート
	子が大きくなるまで安心して子育てできる暮らし
安全・安心なまち	災害時(地震・洪水・温暖化)にも安心なまちづくり、
	安全で安心な生活が続けられる
繋がりあい、孤立しないまち	多様な人がつながり、顔が見えるまち
	家族以外の人とのつながりを持ち、健康で役割を持って生活できるまち
	色々な分野の人たちとつながりあえるまち

第2回武豊町まちづくり会議(R6.12.14)

■ 未来の姿を実現するための取組アイデア(抜粋)

Aグループ テーマ:子どもの学び・育ちを応援するまちへ

見出し	取組アイデア(抜粋)
職業体験＋多世代交流	・ 職業体験（特に町内企業に協力してもらう） ・ 小学生の職業体験(町内の企業や店と連携して機会を作る) ・ 交流の場の周知 体験学習の拡充 ・ 憩いのサロン等での交流を、園児だけでなく、小学生や中学生と行い、年齢によってかわり方を変える
子どもたちが主体となった活動	・ こども会議 ・ 子ども議会、地域スポーツ大会など ・ 小中高校生企画運営のイベント ・ コミュニティスクールの活用、市民団体やサークルとのコラボ
中高生の居場所	・ 中高生の居場所…今の施設を活用した誰でも来られる場作り ・ 中高生の居場所として、学習サポート シャベリ場、中高生のボランティア、バイト
「ついで」でできる施設・場	・ 保護者の子育てしやすい環境…「ついで」でできる各施策の複合化

Bグループ テーマ:みんなが元気に活動・活躍するまちへ

見出し	取組アイデア(抜粋)
情報の出し方・伝え方の工夫	・ 町内外問わない 誰でも見ることができ、かつ、見やすい情報発信 ・ HP、スマホ、広報…ボランティアに関する情報 リーダー育成の紹介 ・ 住民対話集会等による、町民の知りたい情報のニーズ把握 ・ 町からの情報を直接発信できるように(LINEとか)
成功体験・学ぶ心の育成	・ ベストプラクティス・成功事例の(発信)発表会の実施 ・ 「学び直す」楽しさ…楽しそう、面白そうと思ってもらえるプログラム
地域の担い手、人手に変わる仕組み(人材確保)	・ 働き方改革に対する人材確保、交通指導員の増員(登校、下校のみ等) ・ 町も協力した人材募集 ・見回りに代わる防犯対策 ・ 参加しやすい、しなければならないと思うような体制

Cグループ テーマ:住みよいから、住みたいまちへ(その1)

見出し	取組アイデア(抜粋)
商店街 名鉄知多武豊駅・JR武豊駅	・ 名駅エリアへ通勤できる人へ PR マンション・店舗 ・ JR、名鉄駅の活用…企業との話し合い ・ 駅(鉄道会社)を中心とした交流拠点コミュニティを作る ・ 若者がチャレンジできるスペースづくり、みゆき通り以外でも商店街の仲間に広げていく ・ 駅前に高級ホテル、企業オフィスマンション等の複合施設を作る ・ 人を呼び込むイベント、出店者の増加 ・ 駅前(周辺)の空き家・店舗の有効な活用…推進力となる組織づくり
みその文化を根付かせる みそのPR	・ みそたまりの文化を知るスタディツアー&食事ツアー ・ 常にみそ蔵のみそ汁がのめる みそ汁スタンド ・ みそ醸造のテーマパークを設立する
住環境 公園・緑化	・ 町民みんなで草取り等ボランティア活動 ・ 遊びやすい公園 公園の集約化(緑の管理、遊具の管理しやすく)

Dグループ テーマ:住みよいから、住みたいまちへ(その2)

見出し	取組アイデア(抜粋)
みそ、たまりのPR戦略 みそ、たまり文化の発信	・ 町内外の飲食店にもっと使ってもらって PR。みんなでマイたまり持つ。 ・ 武豊のみそ・たまりを作ったレシピの募集・紹介 ・ 醸造文化の紹介
お試し居住のプロジェクト	・ キーワードは「週末〇〇」家、農地(あき家、荒地含む) ・ 週末だけ武豊に来てもらって DIY や、農業をやってもらう ・ 空き家が増えている。有効活用 ・ 福祉大とのコラボ…まず大学の住宅供給
まちの情報発信拠点 (中心市街地で、武豊自慢の発信)	・ 誰でも気軽に立ち寄れて、情報発信、収集ができる場所 ・ 武豊のいいところ、すごいところを発信(LINE SNS)

第3回武豊町まちづくり会議(R7.1.11)

■ 未来の姿を実現するための取組アイデアを深掘り(要点)

Aグループ 重点施策方針2:子どもの学び・育ちを応援するまちへ

テーマ●A-1 子どもたち(小中学生)を対象とした体験学習(多世代交流も意識して)

- 体験学習の機会をつくる。
 - 企業と連携して見学・体験の場を作る
 - 本気の職業体験…将来の子どもの定住・就職を見据えて実施する。
- 子どもたちが自分たちで考える……成功・失敗体験、大人は余計な口出ししない。
 - 中高生を対象に、ボランティアを募集して、体験する。
- 多世代交流の機会をつくる。
 - 小学生と幼児(園児)のふれあい体験 一緒に遊ぶ、給食を食べる。
 - 高齢者サロンや幼児の遊び場に子どもたちが発表できる場をつくる。

テーマ●A-2 子どもたち(小中高生)が主体となって取り組む事業 (子どもたちが企画・運営するイベント、子ども会議など)

- 子ども会議
 - 年一回テーマを決めてイベント実施。町長へ意見を言う場をつくる。
 - 子ども家庭庁が中心となり、中高生の子ども会議をもうける。
- 子どもたち企画のイベント
 - お祭り、コンサートなどを一から企画、予算、計画、運営まで行う部活や実行委員会をつくる。

Bグループ 重点施策方針3:みんなが元気に活動・活躍するまちへ

テーマ●B-1 住民活動 成功事例の発表会(各種活動団体の成功事例の発信)

- 動画で発信する、伝える。……短い動画(2~3分程度)で伝える。
 - インタビュー動画、活動紹介の動画などを作成・配信。(☆アーカイブ配信。)
- 人が集まる場で成功事例発表の機会を設ける(軽い発表)……発表会自体の企画は大変。
 - 活動団体を表彰する(グッドアクティビティ賞、ありがとう賞(感謝の意))
 - 活動者のモチベーションを上げる→『私もやってみよう』につなげる……スパイラルアップ!

テーマ●B-2 住民の活動・活躍の促進に役立つ情報の提供(情報の出し方・伝え方)

- 既存のしくみの活用 しつこくPRしていく。
 - 町の公式LINE、小中学校のアプリ などでの発信+紙媒体による情報提供も残す。
 - 町(行政)と団体ネットワークの両軸での情報提供。
- テーマ別のあつまりつくる。そこでの学び合い。
 - テーマを絞り込み人が集まるしくみを作る。(身近なテーマがいい)(ex.防災、安全安心)

C グループ 重点施策方針 1:住みよいから、住みたいまちへ(その1)

テーマ●C-1 みそ・たまり文化の情報発信(ブランディング、たまり大使 など)

- みその文化を住民に浸透させる。
みそたろうの出張訪問イベントや授業、みそ・たまり大使
役場内でみそ・たまりをPRするスペースを作る
子どものみそづくり体験…3年仕込みで卒業時にもらう
「武豊みそ」の名を色々な場で使う…町内の店で、行政のメディアで
- みそ料理が食べられる場をつくる。
飲食店のメニュー、料理の写真を投稿
武豊のみそを使った料理コンクール
みそ汁祭り 5つの蔵のみそ汁のみくらべ

テーマ●C-2 まちの情報発信拠点(まちの拠点づくり、武豊自慢発信 など)

- 情報発信拠点……観光案内所的な場所を駅近くにつくる
- 公式のSNSで発信、イベント情報の発信

D グループ 重点施策方針 1:住みよいから、住みたいまちへ(その2)

テーマ●D-1 オープンスペースを活用した人を呼び込むイベント

- 連携してまち全体を活用するイベント……長いイベント(駅～中央公園)
マルシェやスタンプラリー、体験
オープンスペースを活用した音楽、マーチングバンド、ミニスポーツ
- 特色あるイベント……ターゲットを絞り込んだイベント(みそサミット、環境イベント等)
- 民間活力の活用(パークPFI)。
- インフラ(トイレ・駐車場)の整備は必要。

テーマ●D-2 お試し移住の促進

- ルネッサンス(武豊町の魅力の再確認・賑わいをとりもどす)
空き家は旧市街地に多い。道が“狭い”“不便”を逆に魅力に。
- 空き家情報……情報収集、募集 開示(見える化)
- インフルエンサーによる移住で魅力ある情報の発信
- お試し移住体験……農業、DIY、キャンプ など